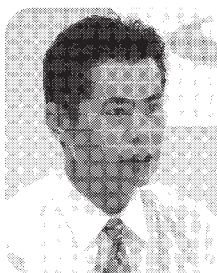


一般質問

この欄は質問者が提出した原稿を掲載しています。



中村 博保 議員

財政健全化について

問 夕張市の財政破綻を受け、地方財政健全化法が成立した。20年度決算分より健全化判断比率を公表しなければならぬが、当町の状況は。

総務課長 国の判断基準は今後示されるが、実質赤字と連結赤字比率は0%、実質公債費比率は21%である。

問 全会計の、受益と負担

を見直す必要がある。

町長 現在、町の起債(借金)は約304億円あるが、27年度を目途に約200億円程度に減らしたい。

問 合併したとはいえ、予算97億円は人口規模の割合にしては膨大な金額だ。

総務課長 経費の抑制をおこない、27年度には約80億円程度の予算にしたい。

問 具体的な施策は何か。

総務課長 税率・使用料の値上げや滞納対策の強化、財産処分等の促進などを考えている。

国保税の値上げ

問 運営協議会に国保税値上げについての諮問がなされたが、合併協議会での検討など、見通しが甘かったのではないか。

住民環境課長 医療費の予想は立てにくいだが、協議が甘かった部分もあった。

問 最終的には町長の政治

判断が必要だ。また、町長の政治信念に反しないか。

町長 運営協議会の答申を尊重し、最終的には私が判断をする。

問 保険者として十分な取り組みをしなかったのでは。

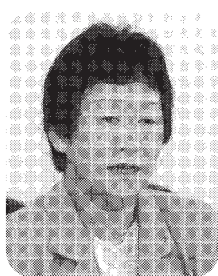
住民環境課長 今後、メタボリック症候群を対象とした健診実施計画に取組む。

問 介護保険料も連動して値上げをするのか。

住民環境課長 国保税と同様に検討することになる。

問 税のコンビニエンス収納を可能にしてはどうか。

税務課長補佐 前向きに検討したい。



上田とめ子 議員

伝統工芸に支援を

問 産業振興については、

旧町村の総合計画によりおこなわれてきたが、新町の基本的な考えをまずお聞きしたい。

観光商工課長 新町の建設計画にそって進めていくが、産業については、横断的に取り組むなどにより、活性化を諮りたい。

問 町づくりは、産業振興をどうするかが課題の一つとなる。中心

市街地活性化計画により、空家対策が進められてきたが、特に上ノ段地域は計画の中で、どういう位置づけや、理念でおこなわれてきたか。

観光商工課長 構想の中では「自然と歴史に新しい息吹を。歩いて感じる町」を大きなテーマとしている。上ノ段については、基本構想の将来像に向けて整備する中で、地域特性に合わせたゾーニングをし、観光拠点として位置づけている。



問 特に漆の館、木地の館については、福島が発祥の地となった漆工芸を、八沢春慶復興計画として位置づけ、漆とともに曲げ物も合わせて、仕事ぶりを観光客の皆さんに見ていただき、アピールしていくのが目的の一つであった。具体化の面で協議の必要性もあるが、どう進められてきたのか。

観光商工課長 ソフト事業に移行していく段階であり観光の施設としても整備されてきたということである。